Webむろみん 電子版
2026年5月27日（水曜日）

福祉教育専門学校・インジンさん祝福、国際ソロプチミスト登別　北リジョン賞、クラブ賞

北リジョン賞とクラブ賞を受賞したインジンさん（中央）を祝福する藤会長（右隣）ら

国際ソロプチミスト登別（藤久美子会長）は、上部団体の国際ソロプチミストアメリカによる連盟プログラム「夢を生きる：女性のための教育・訓練賞」の日本北リジョン賞とクラブ賞を受賞した北海道福祉教育専門学校（室蘭市）の学生で、ミャンマー出身のインジン・ピエ・ゾンさん（２３）に賞金を手渡した。

同賞は、夢の実現に向けて困難に立ち向かいながら、教育や技術の向上に励む女性を応援するのが目的。同校の学生から募った作文などを基に、同クラブが推薦する学生を決めている。

インジンさんは看護師を目指し母国で大学へ進学したが、政情不安で通学が困難となった。ボランティア活動を経て介護職を志し、日本の介護を学ぶため来日。昨年４月に北斗文化学園が運営する同校の専攻科日本語教育課程に入学した。

授業中だけでなく休み時間も勉強に打ち込む彼女の姿勢は周囲にも好影響を与え、熱心に学習に取り組む学生が増えたという。今年３月に同課程を修了、４月からは自立支援介護福祉学科で介護福祉士を目指してさらなる知識や技術の習得に励んでいる。

藤会長ら会員４人が同校を訪れ、インジンさんに北リジョン賞およびクラブ賞を授与した。インジンさんは「介護福祉士の試験に合格して、日本の介護事業所で働きたい」と、今後の目標を語った。藤会長は「受賞を機に違う世界が広がっていくと思う。素晴らしい女性になることを期待しています」とエールを送った。澤田乃基学校長は同クラブへ「このような機会をいただき感謝しかない」と謝辞を述べたほか、インジンさんに「目標に向かって真っすぐ努力してほしい。われわれも全力で支えていく」と激励した。